

IDE大学協会 2025年度第2回IDE高等教育研究フォーラム

学生参画がひらく大学の未来 趣旨説明

2026/03/06

両角亜希子（東京大学）

なぜ学生参画か

- これまで学生の声は可視化されても、学生の役割は明確に位置づけられてこなかった
- 学生参画の文脈（なぜ重要か）
 - 教育改善・質保証の文脈から
 - 大学ガバナンスの文脈から
 - 市民性・民主主義教育の文脈から
→複数の文脈が重なり合っている

学生参画のレベル（どう関わるか）

- 目的によってどの形が適切かは異なる。
- 近年は②③への注目が広がる

レベル	内容	例
① 声を聴く student voice	学生の意見を把握する	授業アンケート・意見聴取
② 代表参加 student participation	学生代表が意思決定に参加	委員会・評議会
③ パートナー Students as Partners	学生が活動を共同で形成	教育改善・プロジェクト

学生参画をめぐる主な概念

- student voice
- student engagement
- student participation
- Students as Partners
- student agency

学生参画を導入する際の主な論点

- 代表性 (representation)
 - 学生代表は誰を代表しているのか
- 情報共有 (information asymmetry / transparency)
 - 大学運営の情報をどこまで共有するのか
- 専門性 (expertise)
 - 大学運営の専門性と学生参加をどう接続するか
- 参加の偏り (エリート化) (inequality of participation)
 - 参加する学生が一部に偏らないか

本日のフォーラムの問い

- 学生参画は大学にどのような変化をもたらすのか
 - なぜその仕組みを導入したのか
 - どのように運用しているのか
 - そこから何が見えてきたのか
- 3つの事例報告
 - 愛媛大学「学生代表者会議」
 - 立命館アジア太平洋大学「学生特命副学長制度」
 - 共愛学園前橋国際大学「学生アドバイザー委員会」

本日の流れ

- 全体司会：小林雅之（桜美林大学 教授）
 - 趣旨説明（背景と論点の提示） 両角亜希子（東京大学 教授）
 - 話題提供① 愛媛大学の学生代表者会議
八尋 秀典（愛媛大学 理事・副学長）
 - 話題提供② APUの学生特命副学長制度
米山 裕（立命館アジア太平洋大学 学長）
 - 話題提供③ 共愛学園前橋国際大学 学生アドバイザー委員会
大森 昭生（共愛学園前橋国際大学 学長）
 - 話題提供④ 学生参画に関する理論的考察—イギリスの事例から—
田中 正弘（筑波大学 准教授）
- 休憩（10分）
- パネルディスカッション 司会：濱中義隆（国立教育政策研究所高等教育研究部長）